

心に残る文化財子ども塾 出雲市立佐田中学校

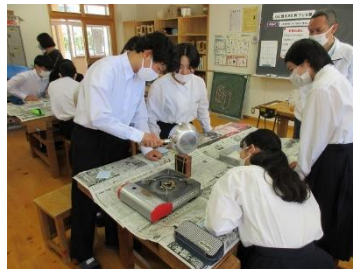
1. 活動の概要

令和3年5月31日（月）、出雲市立佐田中学校で「心に残る文化財子ども塾」を開催しました。1クラスごとにわかれて、2校時に渡ってそれぞれのプログラムを実施しました。1年生は大仏パネル体験で大仏の作られた意味や大きさを実感してもらいました。2年生・3年生は和同開珎作りをとおして奈良時代の社会の様子や貨幣の意味について理解を深めました。全クラスで実施した座学では、佐田町周辺の遺跡について紹介し、出雲国風土記をわかりやすく解説して地元の歴史を身近に感じながら学習しました。また、三田谷Ⅰ遺跡出土和同開珎を実際に見ることで、奈良時代から続く歴史に関心を持ってもらえるよう工夫しました。

2. 活動の様子



大仏パネル体験



和同開珎作り



地域の歴史を学ぶ

3. 活動を終えて

①生徒のみなさんから

- ・出雲市や佐田町内にたくさんの遺跡があることがわかった。
- ・大仏パネルをして、なんでだろうということもたくさん知ることができた。
- ・昔の人が和同開珎をどのように作っていたか、実際に体験してみて苦労して作っていると分かったし、すごい技術を身につけていたと知った。
- ・佐田の吉栗山と出雲大社との深い関係についてのところが一番心に残った。

②先生から

- ・体験と座学の両方ができてよかった。
- ・座学は、クイズ形式にするなど飽きない工夫があるとよかった。
- ・大仏パネルは、組み立て前にヒントを出されると絵より数字を見ていてもったいないと思った。
- ・和同開珎の実物は説得力があった。

③古代出雲歴史博物館から

- ・生徒さんは各プログラムで興味を持って主体的に取り組まれていた。
- ・コロナ対策を取りながらの実施でしたが、多くの先生にご協力いただきスムーズに進めることができた。